

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	新型インフルエンザ対策事業			事業番号	011-231
担当部署名	健康福祉	局	健康部 保健所	部	感染症対策

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性		—	
		寄与するKPI	有・無	指標名		—	
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
			無	取組		—	
		寄与するKPI	有・無	指標名		—	
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画						
3	事業開始年度			平成 22 年度	点検年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)		・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 ・新型インフルエンザ等対策特別措置法				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)		堺市				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)		全堺市民 826,447人 (R2年10月1日国勢調査結果速報値より)				
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)		新型インフルエンザの脅威から市民の生命を守り、健康・生活を保持するため、可能な限り感染の拡大を抑制し、健康被害を最小限とするとともに、社会活動や経済活動への影響を最小限とするため、新型インフルエンザ発生時に迅速かつ適切な対応を行うことができるようにすること。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段)		新型インフルエンザの発生に備え、必要な資材の備蓄及び体制の整備等を行う。				
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)						
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標						
	新型インフルエンザ発生時に迅速かつ適切な対応を行う						
	当該目標を設定した理由		新型インフルエンザ発生時に調達が困難になることが予想されるサージカルマスクの提供など、行動計画等に基づき迅速かつ適切に対応することが求められるため。				
	目標に対する実績		類似の感染症である新型コロナウイルス感染症の発生時に、サージカルマスクを医療機関へ迅速に提供した。				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
	サージカルマスクの備蓄数	枚	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
			目標値	50,000	50,000		50,000
			実績値	20,000	0		
		達成率	40%	0%			
当該指標を選定した理由		感染症対策の初動において医療資材の備蓄数量を一定確保しておくことが重要となるため。 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策として別事業にて購入。					
目標値の設定根拠・算出方法		備蓄計画に基づき、常時目標値の数量の備蓄があるように整備している。					

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	新型インフルエンザ対策事業	事業番号	011-231
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	803	629	952	1	1,228
13 財源内訳	国支出金				
	府支出金				
	市債				
	その他 ()				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	803	629	952	1	1,228
14 人件費 (b)	7,380	7,290	7,380	7,380	7,380
15 年間経費(c)=(a)+(b)	8,183	7,919	8,332	7,381	8,608

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度		事業費		うち一般財源	項目	年度		事業費		うち一般財源
	R2	決算					R2	決算			
16 事業費内訳	感染防止等消耗品費	R2	決算	0	0		R2	決算			
		R3	予算	1,128	1,128		R3	予算			
	医療機関送付用通信運搬費	R2	決算	1	1		R2	決算			
		R3	予算	100	100		R3	予算			
		R2	決算				R2	決算			
		R3	予算				R3	予算			
	R2	決算				R2	決算				
	R3	予算				R3	予算				
	R2	決算				R2	決算				
	R3	予算				R3	予算				

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
① 備蓄用サージカルマスクの購入数	枚	20,000	0
② 上記①にかかる年間経費	千円	106	0
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	5	

備考 (算出についての説明等) ②は購入にかかる消耗品費

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症が市内でも広がりを見せ、サージカルマスク等の医療物資を医療機関等へ早急かつ大量に提供することが求められた。物資の供給量が需要に見合わない状態が続く中で、元来本事業で備蓄を行っていたものを放出することとなったが、事業の優先度に鑑み、今年度の本事業での資材購入は見送った。</p> <p>次年度は、改めて新型インフルエンザ対策としての備蓄を確保すべく、放出した資材の補填分も含めて購入する。</p>
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<p>本事業により備蓄していた医療資材や対応指針により、新型コロナウイルス感染症対策についても一定の土台がある状態で進めることができたが、令和2年度はその影響で備蓄数が計画から逸脱し、補填のための購入も見送ったため、本事業の目的に対し目立った寄与はできなかった。</p>
----	---